

心音・心雑音聴取評価マニュアル

【僧帽弁逆流症の聴診所見】

1. I音の減弱について

I音は減弱していると答えた場合は2点。I音は聴取できませんでしたと答えたとき、あるいは評価者がI音はどうでしたかと聴いてから答えたときは1点。答えられなければ0点。

2. 過剰心音について述べたか。

III音、IV音に関する所見を言ったかどうか。それらの音に注意して聴診したかどうかを判断する。III音を聴取すると答えた場合は2点。評価者が過剰心音はどうでしたかと聴いてから答えたときは1点。答えられなければ0点

3. 雑音は収縮期性か拡張期性かを問う（質問して下さい）

雑音が収縮期性と判断できれば1点。できなければ0点

4. 雑音は駆出性か逆流性かを問う（質問してください）

雑音が逆流性と判断できれば1点。できなければ0点

5. 診断は正しいか

僧帽弁逆流症と答えれば1点。答えられなければ0点。

【質問】

6. 逆流性雑音をきたす疾患

逆流性雑音が聴取される疾患（大動脈弁逆流症、僧帽弁逸脱症、三尖弁逆流症など）を述べれば1点。述べられなければ、0点。

7. 僧帽弁逆流の原因としてリウマチ熱以外にどのような疾患があるか

乳頭筋不全、心不全を伴う拡張型心筋症などを挙げれば1点。挙げられなければ0点

【概略評価】

このステーションでの全体の印象を6段階で評価して、番号に丸をつける。

【14分経過したら】

「あと1分です。」と、受験者に告げる。

【終了の合図が鳴ったら】

解答の途中であっても、「終了の時間になりました。」と、受験者に告げる。

【心音・心雑音聴取が早く終了したら】

「まだ終了の時間になっていませんが、先に終了しますか。それとも続けますか。」と、受験者に問いかける。

→「続ける」と答えた場合は、「それでは、続けなさい。」と、受験者に告げて診察を再開させる。

→「終了する」と答えた場合は、「では、終了の合図があるまで待ちなさい。」と告げて、そのまま終了の合図を待たせる。

解説

僧帽弁逆流症で心不全をきたした症例である。医療面接では発作性夜間呼吸困難発作をきたし起座呼吸の状態であることを理解する必要がある。身体診察では左右心不全をきたしていることがわかる。本症例にはリウマチ熱の既往はないがリウマチ性弁膜症も考慮される一例である。

ステーション 5 (課題 1)

患者：下田 宏子(宏) 45歳 女(男)性

ここは内科診療所の外来で、今は平日午後の診療時間です。この患者さんが、腹痛を主訴に受診しました。初診患者です。生命に危険のある状態ではありません。

まず、7分間で医療面接を行いなさい。(5分間経過した時点で合図します)

医療面接終了後に、次の課題を示します。

このステーション全体の制限時間は15分間です。

〈症例設定〉 — (腹痛) —

下田 宏子 45歳 女性 会社員

◇場面設定

3日ほど前から、右の腹部がしくしくする感じを自覚していた。丁度仕事が忙しい時期で、食事でも不規則で、ストレスのせいかと思って気にせず生活していた。夜は350ccの缶ビールを飲むのが習慣で、この3日間も変わりはない。

今日は昼食を食べてから、少しずつ痛みの感じが変わってきた。深呼吸をするとお腹が痛いし、ゲップがたくさん出る。痛みもどんどん強くなるので心配になり、自宅近くの内科診療所を受診した。

◇患者の気持ち

お腹が痛いというのに、息を大きく吸い込むと何故かお腹の痛みが強くなるので深呼吸ができない。どうしてかわからないし、どうして良いかわからない。ゲップもどうしてこんなに多いのだろうかと思う。

◇現病歴

1. 何もさえぎられない時に自ら話す内容

(時々右中腹部に手をやりながら) 3日ほど前から、右のお腹がしくしくしてしていました。痛みじゃなかったんです、なんかしくしくして。痛くもないのでないのでいつも通りにしていました。

今朝も同じようだったんですが、お昼ご飯を食べてからです。痛くなってきました。大きな息をするとお腹に響きます。ですから息をできるだけ吸い込まないようにしています。それにお昼過ぎからお腹が張ってゲップがいっぱい出ます。変な感じですが。痛みの程度もどんどん強くなるように思います。大丈夫でしょうか？

※「さえぎられた」かどうかを判断する時の注意点

(1) 「あいづち」「語尾の繰り返し」は「さえぎり」とはしない。

(例) Dr「なるほど」/Dr「右が…」

(2) 話の内容についてSPが話した直後にDrが確認するのは「さえぎり」とはしない。

(例) SP「ゲップがいっぱい出ます…」→Dr「げっぷですね」→SP「はい」

2. 医師から尋ねられたら話す内容

いつから痛むのですか？ = はじめは痛みではなかったんです。しくしくしたのは3日前からで、痛くなったのは今日のお昼過ぎです。

急にいたくなったのですか？ = はい、そうです。お昼ご飯食べてしばらく、20分位して急にです。息を吸い込んだら痛くておかしいなど——。

どのあたりが痛いのか？ = ここです (と、右中腹部、側腹部付近を手で押さえる)

ずっと続いているのか？ 一時的 (発作的) なのか？ = ずっと続いています。

きりきり来てお休みがありますか？ = 差し込む感じではありません。痛みが軽くなって忘れる時間ありません。張ったような痛みです。

- 息苦しい感じはないか？ = 息苦しくはない、息苦しくないが、深呼吸ができないのが辛い。
- 痛みが強くなる状況は？ = 大きく息を吸った時
- 痛みが軽くなる状況は？ = わかりません。ないように思います。
- 症状は変わってきているか？ = 少しずつ痛みがひどくなっているように思う。
- 吐き気や吐いたことは？ = ない。
- 最初みぞおちが痛かったりしませんでしたか？ = しません。
- 歩くとお腹に響きますか？ = (きょとんとして) いいえ。
- 虫垂炎の手術は？ = 受けていません。
- 背中？ = 痛くない
- おしっこは？ = 普通です。
- 赤くないですか（血尿）？ = 赤くありません。
- 残尿感？ = ない。
- 大便の出具合は？ = 昨日は普通の便がありました。今日はないですね。
- おならは？ = そう言えば今日のお昼から出てないように思います。
- その他の症状は？ = ゲップがひどいんです。
- ゲップは何時から？ = 痛くなってしばらくしてからです。30分位してでしょうか。
- 止まりませんか？ = ずっと続いています。
- 最近、体重の変化は？ = あまり変わっていないと思う
- 熱は？ = 測っていないが高くはないと思う
- 病院や薬は？ = 行ってない、飲んでない。
- 自分でした対処は？ = 息を小さめにしています。
- 心配なことは？ = 痛みの原因は？手術は要りますか？ゲップが心配、ゲップが続くと死ぬんじゃないですか？

※これら以外については、「特に問題ない」という旨の答を言う

◇アレルギー

食物 = なし、薬 = なし

◇定期的に飲んでいる薬や健康食品など

なし

◇タバコ

吸わない

◇飲酒

毎日ビール350cc

◇既往歴

「特に――」（虫垂炎はやっていない）

◇家族歴

「何もありません」

◇医師の質問に対する対応上の注意点

1. 「ほかに何か症状はありませんでしたか？」というような漠然とした質問に対しては、ゲップ以外は「特に思い当たりません」と答えてください。具体的な症状を一度に複数聞かれた場合には、聞かれたものすべてに答えて下さい。

（例）Dr「吐き気や吐いたりはありませんか？」→SP「吐き気もありません。吐いてもいません」

Dr「吐き気や嘔吐はありませんか？」→SP「吐き気もありません。嘔吐??」

2. 話が進まなくなり、「言い忘れたことは？」と聞かれた場合は→患者の気持ちなど話していないことが多くても「特にありません」と答えてください。
3. 台本にない内容のことについての質問に対しては→「特に問題ない」「覚えていない」あるいは御自分のこと（例えば食べ物の好みなど）を述べてください。プライベートなことと言いたくないことは言わなくて結構です。ただし、そのことは、どの受験者に対しても言わないでください（対応に一貫性を持たせる）。
4. 十分聞いてもらって、まとめが適切に行われて、「何か、落ちていることがありますか」と聞かれた場合は、話せなかったことを話してください。

◇その他

押さえる場所は右中腹部、側腹部です。自然に手が行くようにしてください。

ゲップのまねができればベターです。

【面接の進め方】

	2	1	0
1. 挨拶（こんにちは、お待たせしました）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 名前確認（フルネーム）、自己紹介をした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 適切な対人空間をとる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 適度に視線を合わせていた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 適切な、丁寧な言葉遣い		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 専門用語を用いない		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7-（1）最初は患者が自由に話せるように配慮した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7-（2）話を促進させる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7-（3）後半で症状を明らかにした		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 共感的な態度を示した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 話を要約して患者さんに確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. まとめのあとで言い忘れないか確認		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. プライバシーに配慮した態度を示した		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【面接で得られた情報】

1. 主訴			
1-（1）いつから（3日前／今日の午後）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（2）どんな（しくしく、張ったような）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（3）どこが		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（4）持続性？、痙痛？		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（5）影響因子（深い呼吸）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（6）経過（少しずつ増悪）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（7）排便、排ガス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（8）吐き気、嘔吐	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（9）体重変化、発熱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-（10）歩くと響く	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
1-（11）排尿の情報		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 随伴症状（ゲップ）			
2-（1）いつから		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2-（2）経過、回数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 解釈モデル（ゲップでは死なないの）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 環境の変化		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. その他の情報（既往歴、アレルギー、服薬、飲酒、タバコ、 家族歴、月経歴など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

合計点 42点満点

点

← 良 い | 良くない →
【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

（この医療面接全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける）

医療面接評価表使用マニュアル

【面接の進め方】

1. 「はじめまして」、「こんにちは」、「お待ちになりましたか？」などを言えば1点。
2. 診察室でもう一度カルテを見ながら名前の確認をして1点、自己紹介して1点（両2点）。
3. 90度法、あるいは90度法に近くて、視線の合いやすい座り方なら1点。
4. 視線を合わせる時間がおよそ70%以上なら2点、70～50% 1点（眼を見ながら会話を進める）。
5. 丁寧語で1点、敬語等は多少間違えても気持ちがあれば1点（1点か0点のみ）。
6. 「疼痛」「頻度」「随伴症状」「部位」など専門用語が出なければ0点。
7. 話の進め方
 - (1) 2つ目の質問として「その症状についていつから（始まって）、どんなふう（になった）か詳しく話して下さい」と尋ねるのがベスト—2点、「詳しく話して下さい」は1点、直接質問法の場合は0点。
 - (2) 「そうですか」「それで」などの促進法を用いていれば1点、その他の方法でも雰囲気よく促進ができていれば1点。
 - (3) 半で直接質問法などを用いて症状に関して詳しく聞き、診断治療に役立てようとしている場合は1点、最初から直接質問法で情報収集しようとしている場合は0点。
8. 「それは大変ですね」や「つらいですね」など、患者の感情に反応すれば2点、言葉は投げかけているが感情を伴わない場合は1点、言葉はつたなくても雰囲気がよければ1点。
9. まとめを示せば1点、同意を求めたり「違うところはないですか？」と付け加えて2点。
10. まとめの中で言い忘れたことを聞けば1点。前半、中盤での「（症状が）他にないですか？」は加点しない（0点）。
11. プライバシーがらみでは「失礼ですが——」や、「もしよければ——についておはなしいただけませんか」で1点。

【面接で得られた情報について】

1. (1) 『3日前から』と、『午後から』が区別されて2点、どちらかで1点。
 - (2) 『しくしく』、『張ったような』で1点。
 - (3) 右中腹部、側腹部を確認して1点。

- (4) 持続性鈍痛か痙痛か確認して1点。
- (5) 深呼吸で痛いを確認して1点。
- (6) 増悪傾向を聞いて1点ずつ。
- (7) 『排便の状態』、『排ガス』で1点ずつ。
- (8) 『吐き気』『吐く、吐かない』で1点ずつ。
- (9) 『体重変化』『発熱』で1点ずつ。
- (10) 歩くと響くを聞いて2点。
- (11) 排尿の情報について聞けば1点。

2. ゲップ

- (1) ゲップがいつからを確認して1点。
- (2) 『多くなった、少なくなった』『回数』で1点ずつ。
- (3) どのような病気を心配しているか、ゲップが心配など聞けば1点。
- (4) 職場もしくは家庭での環境変化に言及して1点。
- (5) 1項目で1点、2項目以上聞けば2点。

【概略評価】

この医療面接全体の印象を6段階で評価して、番号に丸をつける。

【5分経過したら】

「5分たちました。あと2分です。」と、受験者に告げる。

【7分経過したら】

医療面接の途中であっても、「7分たちましたから、そこまでで終了しなさい。」と、受験者に告げる。

【医療面接が早く終了したら】

「まだ7分たっていませんが、医療面接を終了しますか。それとも続けますか。」と、受験者に問いかける。

→「続ける」と答えた場合は、「それでは、続けなさい。」と、受験者に告げて医療面接を再開させ、7分経過するまで続ける。

→「終了する」と答えた場合は、「追加の情報や課題をみますか。それとも7分経過するまで休みますか。」と、受験者に問いかけ、それに対する返事に沿って進める。

ステーション 5 (課題 2)

(開始の 7 分後に提示する)

患者：下田 宏子(宏) 45歳 女(男)性

この患者の腹部を診察しなさい。また、診察しながら、患者に所見を説明しなさい。腹部全体をみなさい。

大動脈の触診、脈管の聴診、肝臓・脾臓・腎臓の触診・打診、踵落とし試験は不要です。

制限時間は 4 分間です。

【患者さんへの配慮】

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2 | 1 | 0 |
| 1. 開始時に腹部診察をする旨を告げ了承を得たか | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 診察の種類に合わせて適切に声をかけたか | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 声をかけるときの言葉づかいは良かったか | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 痛みに配慮したか | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 手、聴診器を温めたか | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

【診察手技】

- | | | | |
|----------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 6. 十分腹部を露出させたか | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7. セクシャリティに配慮したか (バスタオルなど) | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8. 視→聴の順に診察したか | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

視診

- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 9. 重要な視診項目の観察
(輪郭) (膨満/平坦) (手術瘢痕) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|--------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|

聴診

- | | | | |
|----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 10. 腸蠕動音 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11. 振水音 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

打診

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 12. 打診技能 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 13. 腹部全体と局所をたたき、刺激症状を比べたか | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

触診

- | | | | |
|---------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 14. 下肢の屈曲 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 15. 腹部全体の浅い触診 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 16. 腹部全体の深い触診 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 17. 右腹部を最後にみる | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 18. 局所圧痛の確認 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 19. 反跳痛の確認 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 20. 筋性防御の確認 | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

合計点 37点満点

点

← 良 い | 良くない →
【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

(この医療面接全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける)

身体診察評価マニュアル

【患者さんへの配慮】

1. 「それでは（腹部の）診察をさせていただきます」、「おなかを診せて下さいね」などと声をかけて了解を得ると2点、声かけをしても了解を得るまで待たず始めたら1点。
2. 各診察ごとに、適切に声をかけたか。（「お腹の聴診をしますよ」、「お腹を叩きますね」など。1、2回しか声かけしなければ1点。上記1. のあと1回もしなければ0点。
3. 丁寧語、尊敬語を心を込めて言えて2点（多少間違えても良い）。心がこもってないと感じられれば1点。ぞんざいなら0点。
4. 「痛かったら言って下さいね」、「痛みはないですか」の言葉で1点、右中腹部を最後にみて1点、合計2点。
5. 片方温めて1点。「冷たくないですか」などの声かけもいずれかの動作としてカウントしてよい。

【診察手技】

6. 心窩部から恥骨結合・鼠径部が見えて2点、いずれか見えなければ「1点不十分なら0点。
7. バスタオルをかける、「もうちょっと下げさせてもらえますか」などで1点。言葉かけはいずれも、準言語的言語、非言語的言語の印象でマイナス1点可。
8. 視診→聴診で始めれば1点。
9. 輪郭、膨満しているか平坦か、手術瘢痕の2つ以上で2点、一つで1点。

(視診についてただ診ているだけで口頭で述べない場合は、「診ている所見を口頭で述べながら診察を進めて下さい」と助言する)
10. 腸蠕動音（正常音、強弱など性状と、回数（亢進））について述べれば1点、金属音に言及すれば2点。
11. 振水音をみて、手技が正確なら2点。手技が下手なら1点。
12. 打診技能がきちんとできて2点。回数をたたきすぎる、右指の屈曲不十分などは1点減点。
13. 「4領域か9領域を考えて」、「右中腹部を最後にして」2点。いずれか不十分なら1点。

14. 屈曲：膝が90度以下なら2点、90度以上で1点、屈曲なし0点。
触診の途中で思い出して曲げた場合は（90度以下、90度以上）いずれでも1点。
15. 腹部全体の浅い触診：「最低4領域（9領域でも可）をくまなく浅く」、「全領域を」触診できると2点。深すぎる場合マイナス1点。一部残すとマイナス1点。
16. 「最低4領域を」、「深く」触診できると2点。いずれか不十分で1点減点。
17. どの診察行為でも右中腹部を最後にして2点、忘れることがあれば1点、気にしなければ0点。
18. 「（「痛いですか？」「押して痛みはありますか？」と）圧痛の有無を確認し」、「押し方は指先で押して」、「他の部位と比べて」2点。いずれか不十分なら1点減点。
19. 「圧痛と反跳痛を（「押すときと、離す瞬間とどちらが痛みますか？」と）比較し」、「多部位と比べて」2点。いずれか不十分なら1点減点。反跳痛のテクニック（手指の動き）が拙い場合マイナス1してよい。最低点は0点。
20. 筋性防御の有無を述べれば1点。

【概略評価】

この身体診察全体の印象を6段階で評価して、番号に丸をつける。

	評価者氏名			
	3	2	1	0
1. マナーや態度は適切でしたか	きわめて 適切だった <input type="checkbox"/>	適切 だった <input type="checkbox"/>	やや 不適切だった <input type="checkbox"/>	きわめて 不適切だった <input type="checkbox"/>
2. あなたの話に耳を傾けて聴いて貰えましたか	とても良く 聴いて貰えた <input type="checkbox"/>	聴いて 貰えた <input type="checkbox"/>	あまり聴いて 貰えなかった <input type="checkbox"/>	全く聴いて 貰えなかった <input type="checkbox"/>
3. あなたの話は正確に理解されたと思いますか	とても良く 理解された <input type="checkbox"/>	理解 された <input type="checkbox"/>	あまり理解 されなかった <input type="checkbox"/>	全く理解 されなかった <input type="checkbox"/>
4. 医師の話はわかりやすかったですか	とてもわかり やすかった <input type="checkbox"/>	わかり やすかった <input type="checkbox"/>	少しわかり にくかった <input type="checkbox"/>	とてもわかり にくかった <input type="checkbox"/>
5. からだの診察は快適でしたか	とても 快適だった <input type="checkbox"/>	快適 だった <input type="checkbox"/>	少し 不快だった <input type="checkbox"/>	とても不快 だった <input type="checkbox"/>
【概略評価】	とても 良かった <input type="checkbox"/>	良かった <input type="checkbox"/>	少し 良くなかった <input type="checkbox"/>	とても 良くなかった <input type="checkbox"/>
6. 全体の印象として今回はこの医師に診てもらって 良かったですか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特記事項

[]

[]

[]

合計点 18点満点

点

ステーション 5 (課題 3)

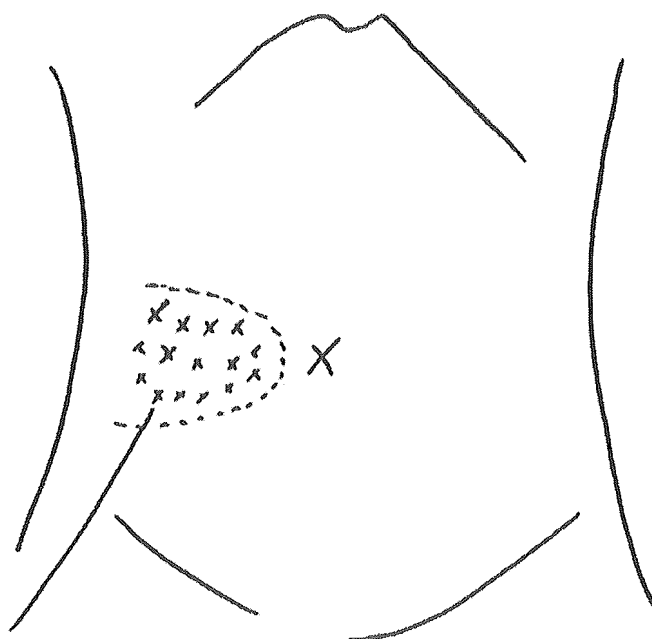
(身体診察終了後に提示する)

患者：下田 宏子(宏) 45歳 女(男)性

身体所見では、下記の所見がありました。

血圧120/80mmHg、脈拍76/分、

呼吸数18/分、体温37.2℃



手術瘢痕なし。大腿ヘルニアなし。

腸蠕動音は軽度低下、金属音なし。振水音なし。浅い触診の手が沈まない。比較的浅い

(筋肉レベルのような) 圧痛が強い。叩打痛もみられる。反跳痛はほとんどない。他部位にも腫瘍は触知しない。

面接と身体診察を参考にして、4分間で

- I. 考えられる診断を3つ列挙しなさい。
- II. 行うべき重要な検査項目を5つ選択しなさい。
- III. 入院、治療を行います。病棟で行うべき事項を選んでそれぞれ1つ○をつけなさい。

残り時間が1分になったら知らせます。

I. 鑑別診断

1.

2.

3.

II. 行うべきであると考えられる検査項目を5つ選択して○をつけなさい。

- | | | | |
|------------|-------|----------------|-------|
| 1. CBC | _____ | 7. 腹部CT | _____ |
| 2. CRP | _____ | 8. 腹部MRI | _____ |
| 3. イレウス管造影 | _____ | 9. 腹部単純エックス線検査 | _____ |
| 4. 大腸内視鏡検査 | _____ | 10. 腹部血管造影 | _____ |
| 5. 注腸造影 | _____ | 11. 腹部超音波検査 | _____ |
| 6. 腹水穿刺 | _____ | | |

III. 病棟で行うべき事項を選んでそれぞれ1つ○をつけなさい。

- | | | | | |
|------------|-----------|------|----------|---------|
| 1. 食事 | 絶食 | 流動食 | 全粥 | 普通食 |
| 2. 歩行 | 不可 | 室内 | 廊下 | 病棟内 |
| 3. バイタル測定 | 4回 | 3回 | 2回 | 1回 / 1日 |
| 4. 排泄 | バルーンカテーテル | ベッド上 | ポータブルトイレ | トイレ |
| 5. 尿量測定 | 要 | 不要 | | |
| 6. 心電図モニター | 要 | 不要 | | |
| 7. 酸素吸入 | 要 | 不要 | | |

鑑別診断と検査計画：採点基準

I. 鑑別診断

5点：「憩室炎」、「吞気症あるいは不安症あるいは軽度腸管麻痺」

3点：「虫垂炎」「子宮外妊娠（などの婦人科疾患）」

1点：「尿管結石を含む尿路疾患」

その他の記載については得点を与えない。

吞気症あるいは不安症あるいは軽度腸管麻痺はいずれかで5点、また複数個記載しても5点のみ

II. 検査計画

1. CBC	3	7. 腹部CT	3
2. CRP	3	8. 腹部MRI	0
3. イレウス管造影	- 2	9. 腹部単純エックス線検査	3
4. 大腸内視鏡検査	- 2	10. 腹部血管造影	- 2
5. 注腸造影	- 2	11. 腹部超音波検査	3
6. 腹水穿刺	- 2		

最高点 15点 最低点 -10点

III. 病棟で行うべき事項を選んでそれぞれ1つ○をつけなさい。

1. 食事	<input type="checkbox"/> 絶食	<input type="checkbox"/> 流動食	<input type="checkbox"/> 全粥	<input type="checkbox"/> 普通食
2. 歩行	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 室内	<input checked="" type="checkbox"/> 廊下	<input type="checkbox"/> 病棟内
3. バイタル測定	<input type="checkbox"/> 4回	<input type="checkbox"/> 3回	<input type="checkbox"/> 2回	<input type="checkbox"/> 1回 / 1日
4. 排泄	<input type="checkbox"/> バルーンカテーテル		<input type="checkbox"/> ベッド上	<input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> トイレ
5. 尿量測定	<input type="checkbox"/> 要	<input checked="" type="checkbox"/> 不要		
6. 心電図モニター	<input type="checkbox"/> 要	<input type="checkbox"/> 不要		
7. 酸素吸入	<input type="checkbox"/> 要	<input type="checkbox"/> 不要		
<input type="checkbox"/> 2点	<input checked="" type="checkbox"/> 1点	最高点 14点	最低点	0点

ステーション 6

患者：網島宗介 22歳 男性

ここはあなたが担当する内科外来です。

1. 医療面接と下記の神経診察を行いなさい。

Barré徴候の有無（上下肢）

通常歩行とつぎ足歩行、Romberg試験

感覚系の検査

下肢の筋トーンス

四肢の反射と病的反射

2. 診察が終了したら、所定の用紙に、神経診察で得られた異常所見、考えられる病巣部位を記載しなさい。

このステーション全体の制限時間は15分間です。

注意1：一般身体診察は省略（正常です）。

注意2：痛覚検査は行わず、触覚検査で代用して下さい。
（同じ所見が得られたものと仮定します）